

令和5年度

Digital Innovation City イベント・実証プロジェクト

公募要領

2023年3月

Digital Innovation City 協議会運営事務局

- 目次 -

1. 事業概要	1
1. 1. 背景・目的.....	1
1. 2. 実施時期.....	1
1. 3. 企画応募から実施までの流れ.....	1
1. 4. 本事業の実施スキーム・DIC スタートアップ社会実装支援窓口（※3）による支援.....	2
2. 募集内容	3
2. 1. 募集内容.....	3
2. 2. 費用負担.....	3
2. 3. 選定件数.....	3
3. 企画提案者の要件	4
4. 企画提案書の内容	4
5. 企画提案書の提出方法	4
5. 1. 企画提案書の作成.....	4
5. 2. 提出書類.....	5
5. 3. 企画提案書の提出〆切.....	5
5. 4. 企画提案書の提出方法.....	5
6. 選定方法	6
6. 1. 選定プロセス.....	6
6. 2. 選定基準.....	6
7. ヒアリング・プレゼンテーションの実施	6
8. 留意事項	7
9. 連絡先	7

1. 事業概要

1. 1. 背景・目的

臨海副都心エリアは、東京都による「『未来の東京』戦略」（令和3年3月）の戦略10「スマート東京・TOKYO Data Highway 戦略」におけるスマート東京の先行実施エリアの一つとして「デジタルテクノロジーの実装」と「スタートアップの集積」を推進する「Digital Innovation City」（以下「DIC」という。）の実現に向けた取組を進めております。令和3年3月には、臨海副都心に関わる団体等が連携し、「Digital Innovation City 協議会」（以下「協議会」という。）を設立し、DICの実現に向けて協議を開始しました。

令和4年度においては、エリア内の回遊性やアクセシビリティの向上を目的とした次世代モビリティの体験イベントや、エリアの価値向上・にぎわい創出を目指したライブビューイングや3Dホログラムの実証を行いました。また、エリア内の様々なデータ活用促進のため、データプラットフォーム構築の検討を進めています。

令和4年度に引き続き、令和5年度以降もDICは、コンセプト「少し先の未来を体験できる、ライブ・エンタメ分野を軸とした、出会い、つながり、共に創るまち」に基づき取組を継続していきます。2030年は一つのマイルストーンとして、イベントの継続的な開催等を通じて来訪者が賑わい、イベントを支える様々な技術に関わるスタートアップが集積することをゴールイメージとして掲げているところです。

2030年のゴールイメージ達成に向けた課題解決の実証として、2023年度はDICとして核となる「ライブ・エンタメ」や、「環境・サステナビリティ」「防犯・防災」をテーマとする実証企画を令和5年3月31日（金）まで募集します。

（※1）「未来の東京」戦略 version up 2023」（令和5年1月）（協議会発足時から更新有）
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2023/index.html#page=1>
（※2）「Digital Innovation City 協議会ホームページ」
<https://tokyo-dic.jp/>

1. 2. 実施時期

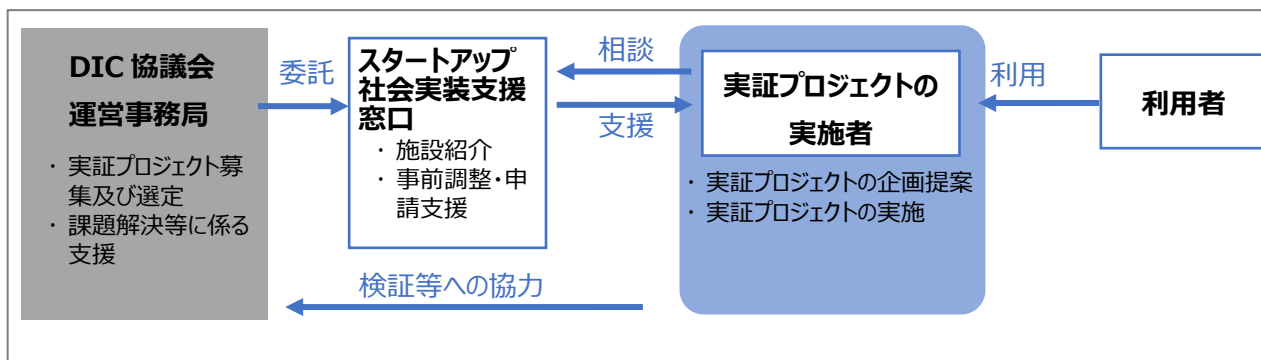
令和5年（2023年）6月～令和6年（2024年）2月を予定しています。

1. 3. 企画応募から実施までの流れ

2023年3月31日	企画募集〆切 ※募集〆切を延長しました
2023年4月上旬～4月中旬	ヒアリング 企画審査
2023年5月以降	DIC協議会総会での企画承認契約締結 実施計画書の提出（DIC協議会PT等での報告）
2023年6月～2024年2月	実証企画の実施 検討状況、実証結果等のご報告（DIC協議会PT等での報告）
2024年3月	令和6年度の実施及び実施内容をDIC協議会総会で承認

1. 4. 本事業の実施スキーム・DIC スタートアップ社会実装支援窓口 (※3) による支援

本事業における実証プロジェクトの実施者は、実施に際して、DIC スタートアップ社会実装支援窓口から候補施設の紹介や施設利用に係る申請手続への支援等を受けることができます。



【表 1】

(※3) 「DIC スタートアップ社会実装支援窓口ホームページ」
<https://tokyo-dic.jp/startup/>

2. 募集内容

臨海副都心エリアにおいて、以下を踏まえた実証プロジェクトの企画を募集します。

2. 1. 募集内容

下記募集テーマについて、臨海副都心エリアの課題解決のために先端技術を活用した実証プロジェクトを募集します。
なお、プロジェクトの実施場所は原則として臨海副都心エリア内（別紙）とします。

募集テーマ	企画例
①ライブ・エンタメ	<ul style="list-style-type: none">● 遠隔での現地リアルイベント体験● イベントのデジタル空間演出● コンテンツを活用したエリア周遊の促進● MICE・インバウンド促進に資する多言語対応
②環境・サステナビリティ	<ul style="list-style-type: none">● エリアの環境・美化活動のサポート● 花と緑の魅力の増進● エリアのイベントや飲食店等の食品ロス低減● イベント時における環境効果の可視化● イベント施設・設備の保全モニタリング
③防犯・防災	<ul style="list-style-type: none">● 自然災害発災後の円滑な避難・誘導のサポート● イベント会場における AI 等を通じた不審者・不審物の検知● イベントを通じた来訪者の防災意識の啓発

※企画例は参考として示したものであり、例示以外のプロジェクトも受け付けます。

2. 2. 費用負担

企画の費用は、選定された企画書を提出した構成団体に御負担頂きます。

なお、公募の結果採用されたプロジェクトの提案者は、DIC 協議会会長とプロジェクトを実施に係る委託契約を締結するものとします。DIC 協議会は予算の範囲内で、企画完了後、採用プロジェクトの実施に必要と認められる費用を契約金額として負担します。

募集テーマ	令和 5 年度予算
①ライブ・エンタメ	3,000 万円
②環境・サステナビリティ	3,000 万円
③防犯・防災	3,000 万円

2. 3. 選定件数

本事業における実証プロジェクトは合計 3 件（各テーマ 1 件） 選定する予定です。

3. 企画提案者の要件

本事業に応募する事業者等は、以下の要件を満たすこととします。複数の事業者等が共同で応募する場合は、いずれかの事業者等がすべての要件を満たしていることとします。

- (1) 前述のテーマに係るサービス、技術を有する事業者であること
- (2) 東京都からの指名停止措置が講じられている者ではないこと
- (3) 国や他自治体からの委託や助成等を受けていない事業であること
- (4) 選定後、応募事業者の責任で実証プロジェクトを適切に行うことができること

4. 企画提案書の内容

下表の内容に基づき企画提案書を作成してください。

項目	記載内容
0. 企画提案者の情報	・ 主体的に参画するすべての事業者の情報
1. 実証企画のテーマ	・ 「①ライブ・エンタメ」、「②環境・サステナビリティ」、「③防犯・防災」から該当するテーマを1つ記載
2. 臨海副都心の課題	・ 臨海副都心の課題と、課題解決の方向性について記載
3. 2025年に目指す姿	・ 実証プロジェクトを通して、2025年に実現させたい臨海副都心のまちの姿について具体的に説明
4. 企画概要	・ 実施時期、実施主体、想定される実施内容のイメージ等
5. 活用する先端技術	・ 活用技術の名称とその内容について説明
6. 企画参加者・役割	・ 企画、開発、実証、広報、技術協力、イベント運営等、企画参加者名とその役割について説明
7. 予算計画（経費内訳書）	・ 実証プロジェクトに係る費用概算総額（技術開発費及びイベント運営）
8. 3か年計画	・ 2023年から3か年かけて行う各年の実証内容についてそれぞれ記載
9. 想定 KPI	・ 実証プロジェクトを通して達成したい指標値の設定（利用者アンケートの満足度 75% 等）

5. 企画提案書の提出方法

5. 1. 企画提案書の作成

前述の4. に示す内容を DIC 協議会ホームページにアップロードされている応募様式にご記入し、企画提案書を作成してください。

5. 2. 提出書類

- ◆ 企画提案書（PDF ファイル）

5. 3. 企画提案書の提出〆切

2023年3月31日（金）17時

5. 4. 企画提案書の提出方法

企画提案書は、電子メールでの提出をお願いします。メール件名を「令和5年度 DIC イベント・実証プロジェクトの企画提案書の送付」と記載の上、連絡先（会社名（部署名）、氏名、電子メールアドレス、電話番号）を本文に明記し、企画提案書等の電子ファイルを添付してください。

電子メールで送付する際、添付ファイルサイズを10MB以内に収めて頂くようご協力をお願いします。なお、受付期間終了後の差替えはできません。

企画提案書の提出先：DIC 協議会運営事務局 磯田、山内

メール送付先：dic1@nttdata-strategy.com

メール件名：令和5年度 DIC イベント・実証プロジェクトの企画提案書の送付

メール本文：企画提案者の会社名（部署名）、氏名、電子メールアドレス、電話番号

メール添付：①企画提案書、②経費内訳書（メール添付は最大10MBまで）

6. 選定方法

6. 1. 選定プロセス

事務局にて応募内容について必要に応じてヒアリングを行い、選定基準に基づき事務局にて審査した後に、令和5年度第1回協議会総会の承認を経て決定します。

6. 2. 選定基準

選定基準は下表の通りとします。

選定の観点	選定基準
課題解決への貢献度	<ul style="list-style-type: none">◆ DICのコンセプトや方向性に合致した実証プロジェクトか◆ エリアの実際の課題解決につながっているか
取組の新規性・斬新性	<ul style="list-style-type: none">◆ 取組に新規性や斬新性があるか◆ 活用技術は、既に実装されたものから一歩進んだ「少し先の未来」のテクノロジーといえるか
事業者のエリアへの取組意欲	<ul style="list-style-type: none">◆ 提案内容がエリアの課題等を踏まえた具体性があり、事業者が今後エリアにおける課題を解決する意欲を持っているか◆ エリアにおけるイベントや施設等と連携が図れる内容か
将来的な実装の可能性	<ul style="list-style-type: none">◆ 2-3年にわたる継続的な取組が示されており、将来的にエリアに実装の可能性はあるか
実現性	<ul style="list-style-type: none">◆ 連携を想定しているイベントや施設に実現性があるか◆ アンケート回収が見込めるか
費用の妥当性	<ul style="list-style-type: none">◆ 実証に要する費用は妥当か
運営体制	<ul style="list-style-type: none">◆ 体制にスタートアップ（※）が含まれているか ※創業（第二の創業を含む）から10年未満の企業

7. ヒアリング・プレゼンテーションの実施

選定に際し、企画提案書の内容についてヒアリングを実施する、又はプレゼンテーションを実施いただくことがあります。

8. 留意事項

企画実施に係る留意事項

- ・ 企画は、企画書を提出した構成団体の責任で実施してください。
- ・ 企画の実施にあたっては、関連法令を遵守し、事業の安全性を確保してください。
- ・ 実施に際しては、新型コロナウイルス感染防止対策等に十分配慮するとともに、企画実施時における情勢を鑑み、選定された企画内容の変更等をお願いする場合があります。
- ・ 企画の実施に関して発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）については、企画の実施者がその費用を負担してください。また、参加者に損害が発生した場合に備え、保険に加入してください。
- ・ 委託契約を締結した「先端技術の実証」は、履行確認に基づき、事務局が支払います。

企画書に係る留意事項

- ・ 企画書の内容に係る一切の情報については、企画の選定のみ利用するものとし、応募の秘密は厳守いたします。
- ・ 概ね3か年で、まちでの実装に向けた計画を踏まえた実施と、年度毎の検証を踏まえた、計画の見直しをお願いします。なお、3か年の企画選定を確約するものではありません。

9. 連絡先

DIC 協議会運営事務局

担当：松川、磯田、山内、秋山

メールアドレス：dic1@nttdata-strategy.com